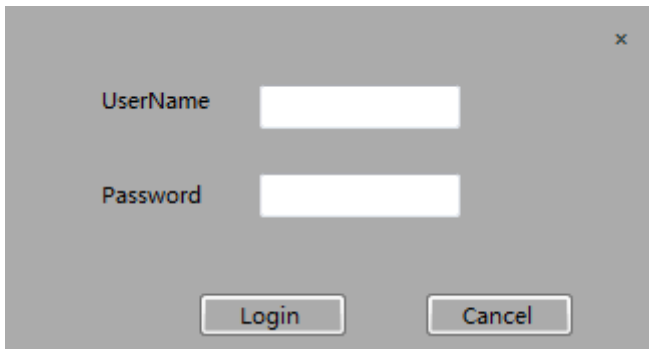


PC 設定ソフトマニュアル

1. システムへのログイン

「AP230 設定.exe」をダブルクリックして実行してください。



デフォルト（初期）設定は、UserName/J100 Password/123456
ログイン後は、任意で変更可能です。

ログイン成功すると、下記画面が表示されます。



2. 言語の変更

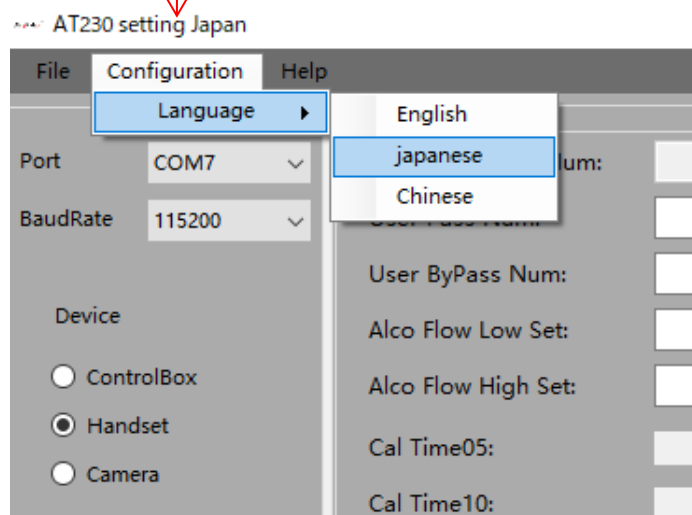
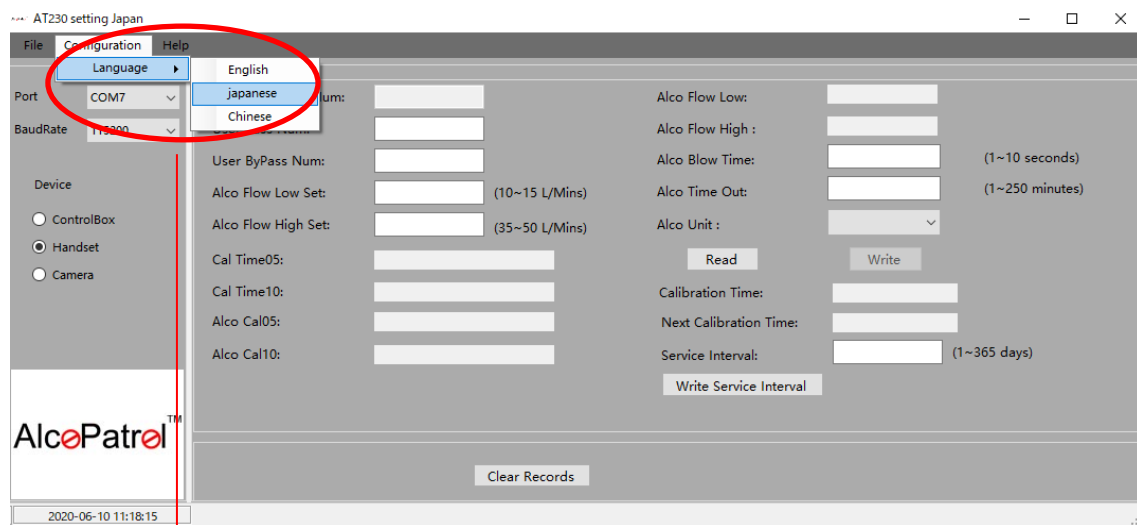
まずは、言語を日本語にしましょう。

画面の左上の、＜Configuration(設置)＞→＜language(言語)＞→＜Japanese(日本語)＞

を選択してください。

これで、日本語に切り替わります。

※ 言語は、日本語、英語、中国語から選択できます。



システムが日本語版に切り替わったのが確認できます。



3. 1 ハンドセットの設定（ハンドセットの接続）

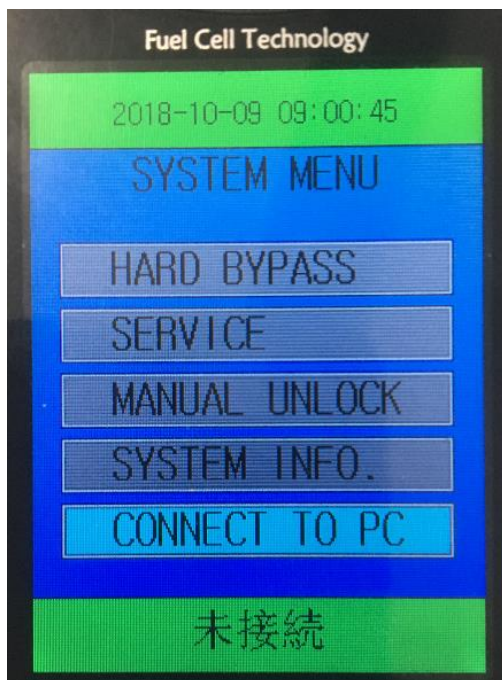
まずは、下記の USB ケーブルがパソコンとハンドセットと繋がっているか確認します。



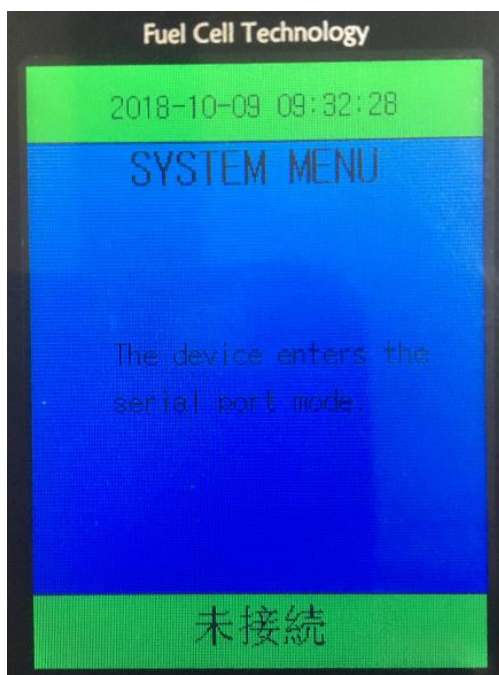
接続されていると、下記のような初期画面が表示されます。



ハンドセットの上ボタン(▲)を押すと、「システムメニュー画面」に切り替わります。



システムメニュー画面から、「CONNECT TO PC」を選択して、中央にある、ボタンを押してください。



こちらの画面が表示されると、初めてハンドセットの設定ができるようになります。

3. 2 ハンドセットの設定（ハンドセットの設定項目）

（１）下記画面のように、デバイス（装置）が「ハンドセット」が選択されている事をご確認ください。デフォルト（初期設定）では、こちらが選択されているはずですが。

AT230 setting Japan

ファイル 設置 ヘルプ

ポート COM7 ▼

変調速度 115200 ▼

装置

☐ コントロールボックス

☒ ハンドセット

☐ カメラ

ハンドセット装置番号: []

ユーザーパス番号: []

ユーザーバイパス番号: []

アルコール流量下限設定: [] (10~

アルコール流量上限設定: [] (35~

校正日時 0.5BAC: []

校正日時 1.0BAC: []

校正コード 0.5BAC []

校正コード 1.0 BAC []

（２）読込設定ボタンを押す事で、現在のハンドセットの設定を読込む事が出来ます。

AT230 setting Japan

ファイル 設置 ヘルプ

ポート COM7 ▼

変調速度 115200 ▼

装置

☐ コントロールボックス

☒ ハンドセット

☐ カメラ

ハンドセット装置番号: []

ユーザーパス番号: []

ユーザーバイパス番号: []

アルコール流量下限設定: [] (10~15 リットル/分)

アルコール流量上限設定: [] (35~50 リットル/分)

校正日時 0.5BAC: []

校正日時 1.0BAC: []

校正コード 0.5BAC []

校正コード 1.0 BAC []

アルコール流量下限: []

アルコール流量上限: []

アルコール吹込時間: []

アルコール吹込時間超過: []

アルコール単位: []

読込設定

校正日時: []

次の校正日時: []

サービス間隔: []

サービス間隔の書込

記録消去

AlcoPatrol™

2020-06-10 13:27:07

読み込み後、下図のように、現在の設定状況が確認できます。

(3) 細かい設定状況の確認 (画面左側)

- ① ハンドセット ID
- ② ハンドセットアクセスコード
- ③ バイパスコード (エンジン緊急始動解除コード)
- ④ 呼気時の吹き込む流量の下限と上限を設定できます (基本的には変更なし)

※ 較正日時以下の項目は、設定また使用できません

細かい設定状況の確認（画面右側）

アルコール流量下限:	46	⑤
アルコール流量上限:	631	
アルコール吹込時間:	5	⑥ (1~10 秒)
アルコール吹込時間超過:	5	⑦ (1~250 分)
アルコール単位:	mg/L	⑧ ✓
<div>読込設定</div> <div>書込設定</div>		
較正日時:	2018-10-11 16:38:24	⑨
次の較正日時:	2019-10-11 16:38:24	⑩
サービス間隔:		⑪ (1~365 日)
<div>サービス間隔の書込</div>		

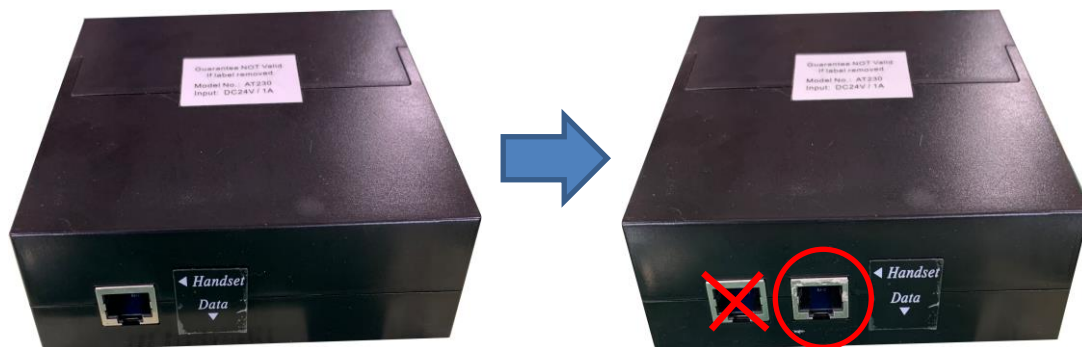
- ⑤ 較正時に注入必要な、空気の量になります。（基本的に変更なし）
- ⑥ 呼気時間：呼気テストを行う時間を設定できます。初期値は 5 秒に設定しております。
- ⑦ 吹き込み待機時間：呼気テストを行う事ができる時間を任意で設定する事が可能です。
初期値は 5 分に設定しております。この時間内は、呼気テストを促す、ビープ音が鳴り続けます。
- ⑧ アルコールを示す単位：mg/l や %BAC など、アルコール量を示す単位の設定の切り替えも可能ですが、ここは日本の基準の mg/l で良いです。
- ⑨ 較正日時：前回、機器またはアルコールメンテナンスした日時を表示します。
- ⑩ 次回較正日時：次回、機器またはアルコールメンテナンスを時期を表示します。
- ⑪ 次回較正時期までの間隔：基本的には、次回較正時期は、前回較正より、
1 年後（365 日）に設定しております。使用頻度によっては、
間隔を短くする事も可能です。
メンテナンス後は、必ずこの項目を設定して、「サービス間隔の書込み」ボタンを押してください。

○ ハンドセットの設定変更方法

ハンドセットの各設定を変更したい場合は、設定を変更後「書込設定」ボタンを押下してください。ただし、「書込設定」ボタンが有効になるのは、「読込設定」ボタン押下後、5 秒間のみになりますので、設定変更後、速やかに作業を行ってください。

4. 1 コントロールボックスの設定 (コントロールボックスの接続)

まずは、USB ケーブルがパソコンとコントロールボックスと繋がっているか確認します。コントロールボックス側の接続口は、通常はシールが貼られている、右側の挿入口になります。設定時のみ、いったんシールを剥がしてください。



※ PC⇄コントロールボックスを繋ぐ、USB ケーブルですが、左の LAN の挿入口に繋がないようにご注意ください。不良の原因になります。

4. 2 コントロールボックスの設定 (コントロールボックスの設定項目)

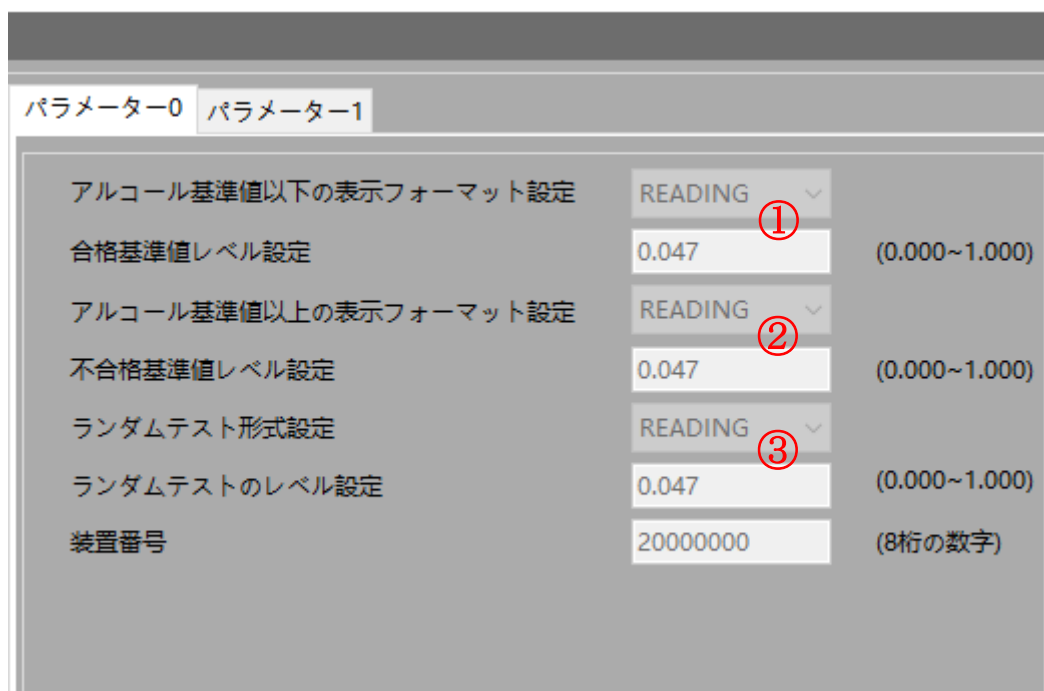
(1) 下記画面のように、デバイス (装置) を「コントロールボックス」を選択してください。



(2) 現在のパラメーター情報を表示します。



(3) 細かい設定状況の確認 (パラメーター0 の画面左側)



- ① これ以下の数値のアルコール反応の場合は、呼気テスト合格レベルとします。
デフォルト値は、0.047mg/l に設定されております。
READING : XXXXXXXX PASS:XXXXXXXXXX
- ② これ以上の数値のアルコール反応の場合は、呼気テスト不合格レベルとします。
デフォルト値は、0.047mg/l に設定されております。
- ③ ランダムテスト (一定時間経過後のテスト) のアルコール反応合格レベルの設定を行います。デフォルト値は、0.047mg/l に設定されております。

細かい設定状況の確認（パラメーター0の画面右側）

Temp Lock	Disable ④ ✓	
Temp Lock1 Time	5 ⑤	(1~250 分)
Temp Lock2 Time	15 ⑥	(1~250 分)
ランダムテスト見逃し回数	4 ⑦	(1~250 回)
サービス間隔	365 ⑧	(1~365 日)
較正日時	2020-06-12 13:12:31 ⑨	
次の較正日時	2021-06-12 13:12:31 ⑩	

- ④ Temp Lock：呼気テスト後、アルコール反応した場合、次のテストを行うまでのインターバルを取るかどうかの設定。

Disable：インターバルを設けない Enable：インターバルを設ける

- ⑤ Temp Lock1 Time：初回、アルコール反応してしまった場合の次回テストまでのインターバルの時間

- ⑥ Temp Lock2 Time：2回目、アルコール反応してしまった場合の次回テストまでのインターバルの時間

※ Temp lock を「Enable」の設定にした場合、2回連続でアルコール反応をした場合は5日間、エンジンスタートリックがかかり、エンジン始動できない状況になる。

- ⑦ ランダムテスト（一定時間経過後のテスト）時に無視して呼気テストを行わなくてもエンジン始動できる回数を設けます。

EX)「4」で設定すると、4回無視して運転を続けた場合は、時間エンジン始動できなくなります。

- ⑧ 次回メンテナンス案内表示までの期間を設定します。

EX)「365」で設定すると、時間メンテナンスの案内が、1年後にハンドセットに表示されます

- ⑨ 最新の較正（校正）した日時を表示します

- ⑩ ⑧のサービス期間終了予定（次回メンテナンス予定）を表示します

細かい設定状況の確認（パラメーター 1 の画面左側）

パラメーター0		パラメーター1	
リセット	Enable ⑪	▼	(ランダムテスト機能)
ランダムテスト 1 回数	4 ⑫		(1~250 回)
ランダムテスト 2 回数	4 ⑬		(1~250 回)
テスト失敗回数	3 ⑭		(1~250 回)
BAC テスト回数	3 ⑮		(1~250 回)
温度異常 (高温)	83.000 ⑯		(40~85 °C)
温度異常 (低温)	-30.000 ⑰		(-40~-1 °C)
次回呼気テストまでの時間	210 ⑱		(15~250 分)

⑪ランダムテストを行うかどうかの設定。

Disable：ランダムテストを行わない Enable：ランダムテストを行う

⑫ ランダムテスト 1 回目までの時間を任意で設定します。

⑬ ランダムテスト 2 回目以降の時間を任意で設定します。

⑭ テスト失敗

⑮ BAC テスト失敗

⑯ 高温の温度異常になる温度を設定します（基本的には調整しないでください）

⑰ 低温の温度異常になる温度を設定します（基本的には調整しないでください）

⑱ 出発前に呼気して、次回呼気テストまでの時間を任意で設定する事が可能。

細かい設定状況の確認（パラメーター 1 の画面右側）

カウントダウン 日数	7	①9	(1~30 日)
呼気強弱機能	Disable	②0	(回避機能)
呼気生体検知機能	Disable	②1	
フリースタート	30	②2	(1~250 分)
バイパス	Enable	②3	
バイパス日	5	②4	(1~30 日)
カメラ	Disable	②5	
パーキングランプ	Disable	②6	

- ①9 次回キャリブレーション（校正）までの日付が近くなった場合に、ハンドセット画面上にお知らせが出ます。急にメンテナンスの日付になって、機器が使えなくならないようにするための機能です。
- ②0 息を吐くだけではなく、吸う作業も行って、初めてテストクリアとなり、エンジン始動できる。不正防止機能。
- ②1 呼気に含まれる
温度と湿度より、人間の呼気かどうかを判定します。不正防止機能。
- ②2 フリースタートの時間を設定できます。
※ フリースタートとは、エンジン始動後の、2 回目以降の呼気テストなしでエンジン始動できる時間の事です。
- ②3 バイパス設定を使用するかどうかの設定（緊急始動スイッチ）
Disable：バイパスを使用する Enable：バイパスを使用しない
- ②4 バイパスを使用した後、エンジン始動できる日数を設定できる。
- ②5 カメラを使用するかどうかの設定
Disable：カメラを使用しない Enable：カメラを使用する
※ カメラを使用するを選択した場合は、カメラを繋いだ状況でないと、ハンドセットは使用できないので、ご注意ください！
- ②6 XXXXXXXXXXXXXXXXXX

(4) 細かい設定状況の確認 (パラメーター 0 の画面左側)

ランダムテストのレベル設定	0.047	(0.000~1.000)	校正日時
装置番号	20000000	(8桁の数字)	次の校正日時

書込設定 ②⑦	読込設定 ②⑧	パラメーター・デフォルト設定変更 ②⑨
記録消去 ③⑩	違反記録消去	

- ②⑦ コントロールボックスの設定を変更する場合はこのボタンを押下します
- ②⑧ 現在のコントロールボックスの設定を読み込みして表示したい場合は、このボタンを押下します
- ②⑨ ソフトウェアを起動させた時の、デフォルト（初期値）の設定を行います。
デフォルト値を変更したい場合は、このボタンを押下して、設定変更後、「パラメーター・デフォルト設定保存」ボタンを押下します
- ③⑩ コントロールボックスに蓄積されているデータを一括で削除します。

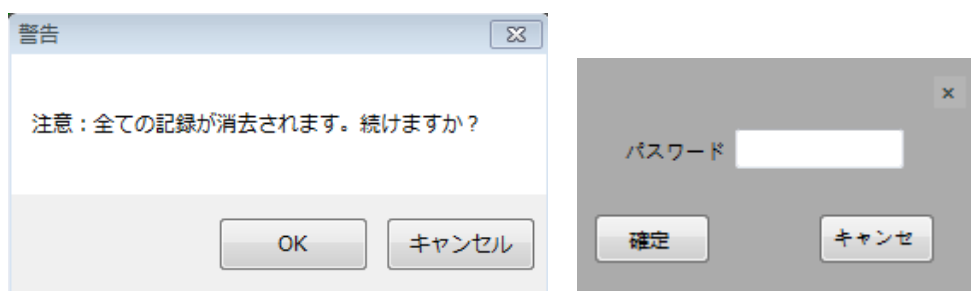
4. 3 カメラデータの消去



カメラを接続した状況で、記録消去ボタンを押してください

※ ハンドセット、コントロールボックス、カメラ、それぞれで履歴データを保持しております

ハンドセットが **USB** ケーブルと繋がっている状況で、上記のシステム画面左の「記録の消去」ボタンを押してください。



上記のダイアログメッセージが表示されます。

パスワードは、デフォルト（初期設定）は、「123456」になっております。

データが消去されると、「記録消去成功！」と表示されます。

※ 現在、システム不具合により、消去が完了しても「記録消去失敗」と表示されてしまいます。現在ソフト改修中の為、今しばらくお待ちください。表示だけの問題で、ケーブルをしっかりと繋いでいれば、データ自体は消去されております。

5. データの表示について

- ・指定した日付だけのデータを閲覧したい場合

例えば、運行データ自体は、1週間程度の履歴データがハンドセットに残っているとして、日付指定してデータを確認する事も可能です。

Ex)運行データとしては、ハンドセットに、8月27日～8月31日までのデータが残っているとして、8月28日と29日の2日分だけのデータを確認したい場合は、上記から、日付を選択する事が可能です。時間は手入力になります。

① 単独項目の表示について

例えば、呼気検査して、検査をクリアしたデータのみを表示したい場合は、上記画面のように、「アルコール未検知」を選択して、表示方式も「フィルター」を選択してください。

② 複数項目の表示について

この方法が、最も実際の運行データ表示に最適かと思います。

システム画面の「選択」ボタンを押します。

すると、下記のダイアログが表示されますので、ここから表示したい項目のみ選択します。その後、名前を入力して、最後に追加ボタンを押してください。

「グループ追加完了！」のメッセージが表示されます。

すると、先程名前を付けて追加したものが、選択できるようになります。

これらの項目はいくつでも作成可能です。

こちらを選択して、「照会」ボタンを押すと、先程カスタマイズした項目のみ表示されているのが確認できます。

6. システムの終了

右側の「×」ボタンで閉じてください。